

次期千葉県県民活動推進計画骨子案たたき

令和 7 年 3 月 1 2 日

千葉県環境生活部県民生活課

1 策定の趣旨

少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化、社会のグローバル化やデジタル化の進展、新型コロナウイルス感染症の経験を契機とした価値観・ライフスタイルの多様化など、我々を取り巻く環境は大きく変化している。

NPO活動やボランティア活動など、県民一人ひとりが主体的・自発的に取り組む社会貢献活動は、共生・共助の精神に培われた持続可能な社会を築き、多様化する地域課題に柔軟に対応していく上で、重要な役割を果たしている。

県では、県民の自発的な社会貢献活動を「県民活動」と位置付け、「千葉県県民活動推進計画」を策定し、広く県民活動を推進するための施策を展開してきたところである。

今後は、誰もが気軽にボランティア活動等の社会貢献活動に参加できるよう、その人のライフステージに応じた参加方法・機会を提供し、活動を定着させたい。また、引き続き市民活動団体が着実に地域で活動するための運営基盤強化を図るとともに、多様な主体がその強みを生かして地域で力を発揮していけるよう、取組を進めたい。

更に、多様な主体の連携・協働による地域課題解決に加えて、その地域の価値を高める「価値創造型」の地域コミュニティづくりを促進していくため、新たな県民活動推進計画を策定し、県民活動の更なる推進を図りたい。

2 計画の性格

県総合計画を踏まえ、県民活動の推進のため県として取り組むべき方向性を定めるもの

3 計画の期間

令和8年度から12年度までの5年間

4 策定の方針

現計画（令和5年度～7年度）を継承しつつ、取組の成果や県民活動を取り巻く状況等を踏まえて策定

【主な課題】

- (1) それぞれのライフステージに応じたボランティア活動の促進
- (2) 市民活動団体の運営基盤の脆弱さや高齢化等による担い手不足
- (3) 多様性を活力とし、誰もが活躍できる地域づくり
- (4) 災害時にも役立つ、平時からのネットワークづくり
- (5) SDGsを共通目標とした連携・協働の更なる推進 など

5 計画の策定にあたって

- ・外部有識者で構成する「千葉県県民活動推進懇談会」における意見聴取
- ・「千葉県総合計画」「千葉県行財政改革計画」等との整合性を図る

6 スケジュール（案）

- ・4月～7月 骨子案の検討（第1回懇談会、庁内・市町村関連事業調査）
- ・7月～10月 計画素案の検討（第2回懇談会、庁内・市町村意見照会、NPO法人実態調査）
- ・11月～1月 計画案の検討（第3回懇談会、庁内関連事業照会）
- ・1月～3月 パブリックコメント、計画最終案の調整、第4回懇談会
- ・3月末 新計画策定

《体系図》

現計画

< 施策の体系図 >

誰もがあたりまえのように県民活動に参加し、
地域のみんなの力で未来を切り開く千葉県

< 施策の方向性 >

- 1 県民活動への理解や参加の促進・定着
狙い：裾野の拡大
人材づくり
- 2 市民活動団体等の基盤強化等の支援
狙い：団体支援
- 3 多様な主体による連携・協働の促進
狙い：協働による地域づくり

< 行動計画 >

- (1) 県民活動の普及啓発の推進
- (2) 県民活動の体験機会の提供と定着の促進
- (3) 様々な県民活動で活躍する人材づくり
- (1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援
- (2) 中間支援組織の機能強化支援
- (3) 民が民を支える仕組みの普及・支援
- (1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の促進
- (2) 市民活動団体等と県・市町村との協働の推進



次期計画（案）

< 施策の体系図 >

誰もがあたりまえのように県民活動に参加し、
地域のみんなの力で未来を切り開く千葉県

< 施策の方向性 >

- 1 県民活動への理解や参加の促進・定着
狙い：裾野の拡大
人材づくり
- 2 市民活動団体等の基盤強化等の支援
狙い：団体支援
- 3 多様な主体による連携・協働の促進
狙い：協働による地域づくり

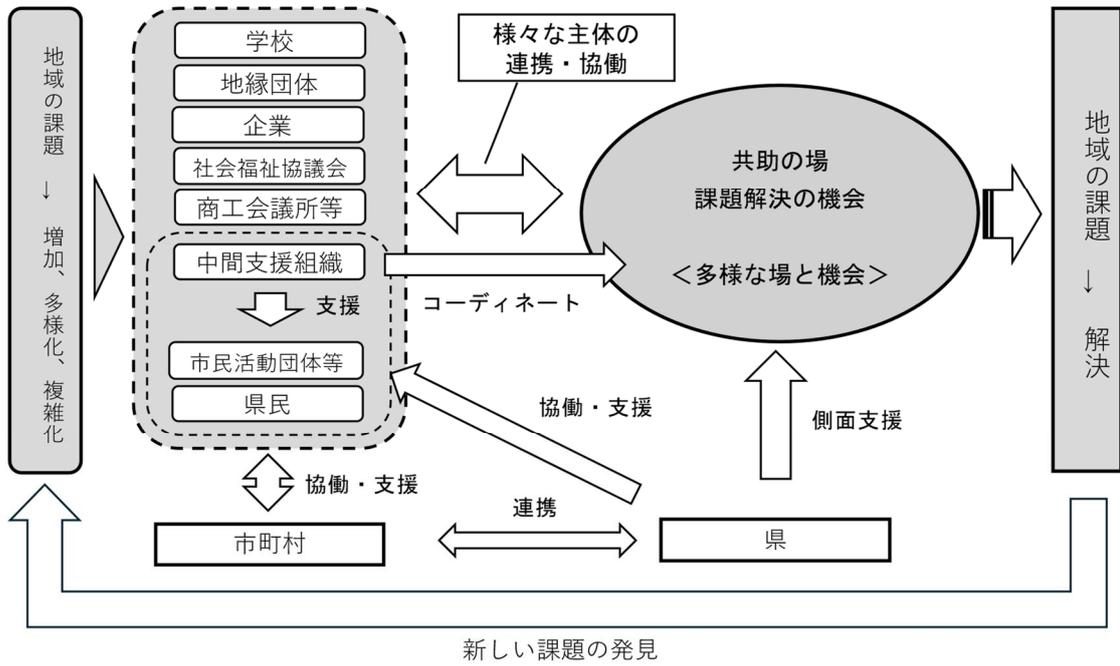
< 行動計画 >

- (1) 県民活動の普及啓発の推進
- (2) **ライフステージに応じた** 県民活動の体験機会の提供と定着の促進
- (3) 様々な県民活動で活躍する人材づくり
- (1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援
- (2) 中間支援組織の機能強化支援
- (3) 民が民を支える仕組みの普及・支援
- (1) **地域コミュニティづくりと、** 様々な主体の連携・協働の促進
- (2) 市民活動団体等と県・市町村との協働の推進

《主な主体とその役割のイメージ》

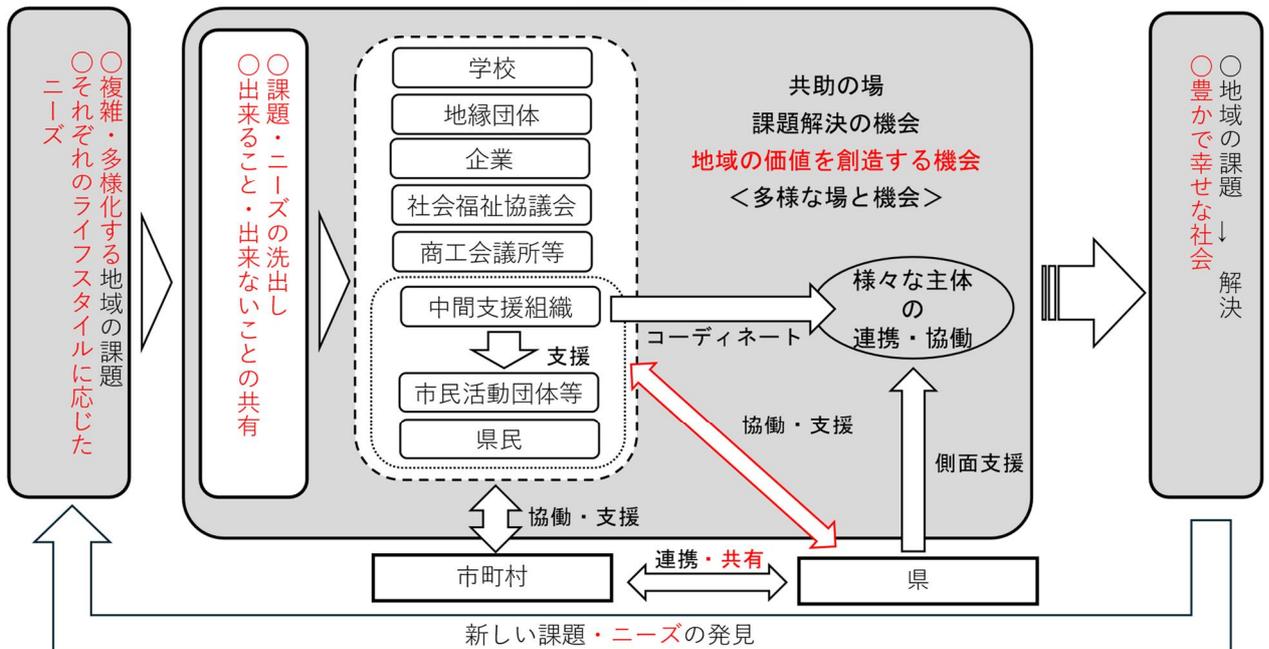
現計画

【様々な主体による地域課題解決のイメージ】



次期計画（案）

【様々な主体による連携・協働のイメージ】



【参考】指標の推移

成果を表す指標	目標 (R7)	R4	R5	R6
(1) 県民活動への理解や参加の促進・定着				
市民活動団体、ボランティア活動に関心がある人の割合	55.0%	44.9%	48.9%	46.8%
ボランティア活動に参加したことがある人の割合	53.0%	44.2%	42.5%	45.0%
ボランティア活動に継続して参加している人の割合	20.0%	12.7%	16.0%	16.8%
(2) 市民活動団体等の基盤強化等の支援				
市民活動団体の活動へ参加（活動・寄附・支援）している人の割合	37.0%	25.2%	25.0%	27.0%
寄附を受けたことがあるNPO法人の割合	70.0%	64.7%	69.0%	70.1%
(3) 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進				
地域の様々な主体と連携している市民活動団体の割合	72.0%	62.4%	64.1%	61.1%
市町村行政・県行政と市民活動団体との協働事業の件数	650 件	561 件 (R3)	693 件	686 件

(R6 時点の状況)

- ・ 7 項目中 2 項目が目標以上である。
- ・ 「地域の様々な主体と連携している市民活動団体の割合」は減少傾向にある。